

第3セクターの責任は だれがとる

藤原充博 議員

町長 経営責任はトップである 社長がとるべき



問 町の第3セクターは、
経営責任はトップである
社長がとるべき
業務責任者か。

答 町の第3セクターは、
町の出資が100%がほとんど
である。各社の代表取
締役は町長だ。もし何か
あつた時の経営責任はだ
れがとるのか、町長か、
業務責任者か。

問 経営責任はトップで
ある社長がとるべき。
奥出雲椎茸と農業公社
は累積赤字がある。

奥出雲椎茸は20人の雇
用の場であり、それを守
り取り組みに、町のお金
を使用する事は、町民の
理解がなければならぬ。

椎茸と公社は外部の意
見も聞きながら将来やつ
直しつつある。

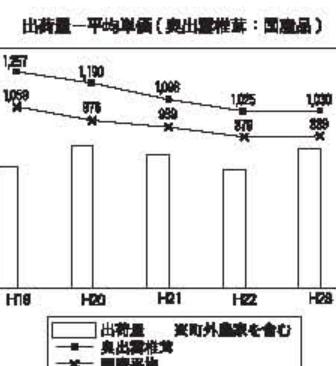
答 平成18年度以降、椎
茸の単価が毎年落ちてき
ている。しかし、「この事
業を始める時の約束で、
「市場価格は落ちても生
産農家の販賣取り価格は
落とさない。」という条件、
約束でエターナルしたり椎
茸栽培を始めている。また、
その差額を会社がずっと
負担してきた。

町も去年、資産の買い
取りをしたが、また2億
円近い資産がある。その
資産を活用し経営努力を
してほしい。単価も持ち
てほしい。単価も持つ
椎茸、原木椎茸、大豆を

問 奥出雲椎茸が販売し
ようにな業務担当部長に直
接伝え指示した。

答 奥出雲椎茸が販売し
ている椎茸醤油の評判が
良いが、原料は町外の椎
茸である。町内のほど木

※公社やピオニーの件、仁
多地区からみれば、開発
公社も含めて、また、旧
横田町の尻ぬぐいかと思
う。助け合いながらも、
きちんと責任を整理しな
ければならない。



ていい必要があるか、い
ろんな観点から検討、改
善策をやる必要がある。
問 議会は第3セクター
の経営内容まで深くかか
わる事ができないが、今
後は検討すべきである。

答 奥出雲椎茸は今まで町
に多額の寄附をしてきた。
しかし、業績が数年前か
ら低迷し、24年度の決算
は大変で町も資産の買い
取りをしているが、生産
者、従業員とも不安に思
っている。今後、どのように
支障をしていくのか。

答 生産したものを見
くじらう事では、さばい
ていい。市場価格の動向
の中止をさじまれている。
高い価格を維持できるよ
うな営業努力は必要であ
る。加工品開発は全国に
競争相手があり難しいが、
食の専門家の知恵等も活
用しきり加工品ができる
ようにな業務担当部長に直
接伝え指示した。

問 奥出雲椎茸が販売し
ている椎茸醤油の評判が
良いが、原料は町外の椎
茸である。町内のほど木

社会経済状況を見なが
ら町民の皆さま、議会の
理解を得ながら何として
も守る。町の一般財源だ
けでなく、国、県の支援
を得るより努力した。

問 生産者や従業員と会
社とのスタンスが違つて
いるのは、「一所懸命、
いい物を作っているので
もっと頑張って売ってほ
しい。販売先の開拓、ど
んな営業をしているのか」
などの意見が多かった。
開拓はどうなのか。

答 どうあるべきか専門
家や関係者がから成るブロ
ジェクトチームを早急に
設置し議論していく。

答 ピオニーの残りの債務8
千400万円についても早急
に町として責任を持って
整理したい。

使用した安全安心な商品
を開発してほしい。農業
公社は今後赤字をどうす
るのか、根本的な対応は
どうか。

答 どうあるべきか専門
家や関係者がから成るブロ
ジェクトチームを早急に
設置し議論していく。